

我孫子市消費者の会

# お知らせ

2014年11月19日 第40期 No. 7-460

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

## 千葉県消費生活の安定及び向上に向けた 県民提案事業

### 第1回の講演会が終わりました

2014年11月15日(土)

「これからの新しい生き方・支え方～互いが生き  
生き暮らしていけるまちに～」

講師:永田 久美子さん 認知症介護研究・

研修東京センター 研究部長

参加者 100名

永田さんは、学生時代からこの問題に深く関わり、  
デイサービスの草分け「稲毛ホワイエ」を立ち上げ  
られた方です。今は上記の職業を持ちながら、全  
国を飛び回って講演をされています。今回は県民  
提案事業の主旨を充分ご理解いただいております。  
でしたので、とてもわかりやすく、これからの我孫  
子の活動に参考になることが沢山ありました。

認知症とは、「病気によって脳の働き(記憶や理  
解・判断など)が低下し、日々の生活を送ることが  
次第に困難になっていく状態」。65歳以上の約1  
5%、予備軍を含めると30%近い。65歳以下の  
若年認知症が従来の予想以上に多く、特殊なこと  
ではない、認知症の人は自分の一歩先に行く人との  
認識が必要。29歳や36歳で発症する人もいて、  
うつ病と間違われることも。認知症には「アルツハ  
イマー病」「脳血管障害」「レビー小体病」等があり、  
病態も違う。早めの診断が大切。

その人たちも、「地域の理解・支援・つながり」を  
増やすと、状態悪化を遅らせることも出来るし、家  
族や支援者も前向きに暮らせ、本人ばかりでなく  
周辺も含めて、人生行路が大きく変わってくる。

ポイントとして、認知症のイメージや見方を一人  
ひとりを変えること。これまで考えられてきたイメ  
ージは、①本人は何もわからずできない②周りにと  
って困った人、おかしなことをする問題な人③  
自分らしい暮らしなんて無理、閉じこもって茫然と  
した日々④暗い、深刻、あきらめ。

しかし、これからは①本人なりの思いや力をい  
っぱい秘めている人②一番困っているのは本人、  
本人なりの理由がある、問題が作られて苦しんで  
いる人③理解と支援、つながりで地域の中で自分  
らしく暮らせる。支えられる一方でなく、支え手とし  
て生き活きた日々④お互い明るい、楽しい。こ  
れからに向けた勇気、希望を。

要するに、認知症は隠すものでなく、地域の中  
でできることをしながら、穏やかに暮らせる町を作  
って欲しい、とおっしゃいました。

最後のポイントとして、①安心な町になるための  
理解者・支え手を増やしていこう。まず、自分が種  
を:身近な人一人からでもいい。周りの人と、認知  
症について、ふだんから話題にしよう。家族、子  
ども、親戚。ご近所、友人、知人、趣味仲間、飲食店、  
お店等々。更に新しい考え方をつぶやこう「認  
知症になっても、これからも一緒に、楽しい日々  
を」②アルツハイマーでもできることはなんでも  
してもらおう。畑仕事、お茶会の当番、歌のリード  
役等々。ご近所で、お弁当を持って地元の景色を  
眺めに行くことも。

永田さんは映像も交えながらお話してくださった  
ので、とても理解が深まったものと思います。

参加された方、如何でしたか？

## 今後の講演会の予定

第二回 ◆日 時:2014年11月24日(月・祝)

14:00~16:00

会 場:近隣センター ふさの風 ホール

講 師:上野 秀樹さん 千葉大学医学部付属病  
院地域医療連携部特任准教授

「認知症の人の地域支援」

第三回 ◆日 時:2014年11月29日(土)

14:00~16:00

会 場:湖北台近隣センター ホール

講 師:細井尚人さん 袖ヶ浦さつき台病院認知  
症疾患医療センター長

「認知症を学ぼう」

\*各会場とも入場無料・当日先着順(100席)

13:30開場

\*次回は、悪質商法の寸劇をもう少し練習して  
行きましょう。

リーフレットとのぼり旗の設置のお願いは、  
11月定例会でご指摘を受けたことに対処しな  
がら、今後も精力的に行います。ご協力をお願  
いします。

## 12月定例会

12月1日(月) 13:30~16:30

我孫子南近隣センター 8F調理室

定例勉強会として、3回の講演会の感想や今  
後のまちづくりの進め方等を話し合います。

1月の定例会予告 1月5日(月)

新年会を含めて行います。10時30分から  
会費 500円

## 第1回我孫子市起業・創業シンポジウム

12月13日(土) 14:00~16:00

川村学園女子大学14号館

基調講演:畑江敬子さん「我孫子の食材、米  
と野菜を調理でおいしく」

パネルディスカッション:「食に関わるビジネ  
スに今求められているもの」

パネリスト

:坂巻陽介さん(風土食房代表取締役)

:石井克枝さん(千葉大学教育学部教授・日本  
調理科学会副会長)

:土田美登世さん(雑誌「料理王国」元編集長)

定員 300名

申込み 12月5日(金)までに電話、ファク  
ス、Eメールで。氏名、連絡先を明示し、企業  
立地推進課 電7185-2214 FAX7185-2215 へ。

副会長坂巻道代さんの息子さんです。どうぞ  
聞きに行ってください。川村学園は天王台北口  
から、バスがあります。

## あとを絶たない悪質商法

認知症講演会でも寸劇で、一番簡単な「オレ  
オレ詐欺」にどうして引っかかってしまうのか  
をやりました。アンケートに「誰でも知っている  
のでなく・・・」と注文を書いた方がありまし  
た。でも、他の方は、「手口が良くわかって、気  
をつけようと思った」と書かれた方が何人かあ  
りました。毎日のようにテレビで注意喚起され  
ていても、啓発は常に必要だと思いました。  
我孫子で、5300万円取られた方がいました。

広報あびこでも取り上げていますが、「電話を  
光回線にしないか」という電話がよくかかります。  
先日のテレビだと、悪質商法をやろうと思  
っている人が調査に使っているらしいと、報道  
されました。電話の対応の仕方、「カモ」にな  
りそうか、判断しているようです。

また、ずいぶん前に「北海道の原野を売り出  
している。絶対値上がりするから」と誘った「原  
野商法」というのが流行りました。その名簿が  
残っていて、「取り戻せる」との電話。

このごろの詐欺グループはあらゆる名簿を使  
ってあの手この手で騙そうとしています。本当  
にご注意を。

～ ～ ～ ～ ～

寒くなりましたね。お身体を大切に!!!

